第33号　平成30年12月1日 発行

れんこん（蓮根）

見通しが利き、広がって多くの根を持ち、なおかつ会員の意を汲んで開花させる　題字 斉藤一健

発行 :東北支部北河内地区広報活動地区育成委員会

TEL:06-6965-9999　FAX: 06-6965-2468　touhoku-info@truck.or.jp

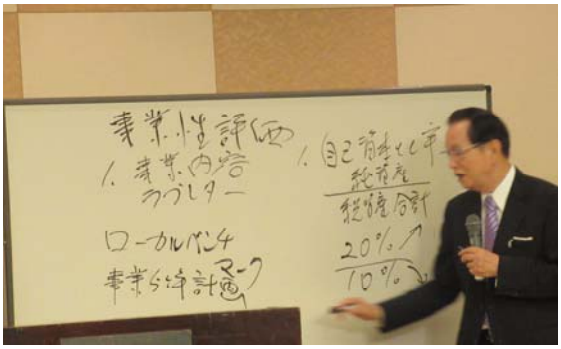
事業性評価を高めて今後の不況を乗り切る！

平成 30 年 10 月 5 日 太閤園･ダイヤモンドホールに於いて第 3 回経営者研修交流会を開催した。テーマは、事業性評価を高めて今後の不況を乗り切る！銀行取引アドバイザー 柴口敏一氏を今回はお招きして、東京オリンピック後の不透明な景気の下でも銀行とスムーズな取引を進めるためにしておくべき対策について説明がありました。

金融庁は金融機関に対して、担保・保証に過度に依存するのではなく、企業の事業内容を適切に評価した融資の促進を求めています。こうした中、取引先経営者のビジョン・能力・経営理念等の「事業基盤」、事業の流れ・詳細な内容「事業形態」、業界の動向・見通し等の「市場環境」をまとめる作業を金融機関は進めています。

事業性評価とは事業基盤・事業形態・市場環境の 3 つから企業になされる評価です。この評価を金融機関任せにするのではなく、企業が自ら詳細な事業計画書を作成して金融機関に説明することが重要になってくることが見込まれます。

事業計画書の作成のポイントとして、自己資本比率の目標の作成(10%以上）、すなわち、返済能力 ＝ 総借入 ÷（経常利益＋減価償却）を 10 年以内にする等があります。



取引先金融機関は、取引先の業務の内容をよく理解していないことが多く、取引先金融機関とのコミュニケーションをとることがますます重要になります。事業性評価の高い会社は、今後も金融機関との取引も円滑に進めることが出来るでしょう、というのが柴口講義のポイントです。運送事業の会社経営という視点の第１回、第２回もためになりましたが、今回は金融界の変化という新しい情報も得られ大変勉強になりました。

研修会終了後、懇親会・交流会が開催されました。ブロック毎にテーブルが準備され活発な情報交換・親交を深めることが出来ました。（Ｈ．Ｓ）

平成30年度 支部緊急輸送訓練について

10月20日（土）午前10時、小雨が降る旭区民センター・中宮１公園に訓練出動車両５両が集結し、梶原副隊長の指揮の下、同訓練は予定通り実施された。支援物資に見たてたダンボールを素早く積み込み訓練車両は避難所として想定した5箇所の小学校へ出動した。

出動車両

1号車 豊栄運輸倉庫㈱ 2号車 日之出運送㈱ 3号車 谷正運輸㈱ 4号車 Japan Aina Express ㈲ 5号車 ㈱交野運送

今回の訓練が初参加であり、全体を見る立場としての感想ではあるが、「本格的だな」という印象を持ちました。この開催にあたって、旭警察署課長をはじめ警察署員の方々のご協力には感謝の気持ちである。同時に、旭区役所　防災課課長殿やスタッフの方々、あと各地区の理事役員の皆様の好意的な参加によって作り上げたこの催しは実にすばらしい事と感慨を受けました。そして、個人的にかねてから疑問であった災害時の食料品や日用品などは普段どういった保管をしているのかという件も理解いたしました。やはり保管スペースというものは大事で、ただ広ければいいだけではなく、いかに荷役時の機能の合理性にかかってきます。ここではサポートラックに種類別に整頓された状態で保管されており、地下１階で天井も高くコンクリート壁の効果で適温かつ湿気の発生しにくい環境と察しがつきます。いざ備蓄品の出庫となった際も横置き配列でラック間も広くとっており大勢での出庫作業もスムーズにいくことと思われます。２階スペースも柵をとってスライダーをかけたら２フロア分の同時の出庫作業が可能。２階の天井が低すぎて作業が困難という意見も聞こえましたが、作業方法や効率を考えればこだわる必要はないという事は想像できます。

閑話休題、緊急車両訓練の皆様には事故もなく本当にお疲れ様でした。我々、運送業界にとって「災害時の緊急出動」というものは本来なら無い方が良いはずの事象ですが、｛ 備えよ常に ｝の教訓は誰もが持つ意識として留めておくべきものである。（Ｏ．Ｍ）

運行管理者等実務者「勉強会」全４回実施！（東北支部主催）

第１講（於：トラック会館）

第２講（於：守口門真商工会館）

第３講（於：大東市民会館）

地区主催で始まり、２年目は支部主催となった「勉強会」には、本年度もプロデキューブの大林インストラクターを講師として招き支部主催で開催した。8/31 の第１講「**運送会社の管理者に期待されている役割**」の要旨は、(1)管理者以上のドライバーは育たず、既存ドライバーの平均以上のドライバーは育たず、ドライバーの姿は管理者の「鏡」。(2)管理者の役割と三大責任（事故防止・人材育成・売上利益）(3)プロの管理者＝社長代理、会社の経営理念を言動に変え、社長の右腕、分身となる管理者を目指そう！の３つでした。大林氏自身の２ﾄﾝ車からトレーラに乗務した経験と配車マンの経験をもとにした講義は、活気に満ち溢れていました。（Ｈ．Ｓ）

9/21 の第２講は「**ルールを守るドライバーを育てる**」、10/19 の第３講は「**交通事故に遭わない防衛運転の指導方法**」がテーマでした。出席者の感想は・・・

○本当に 90 分の講義がアッという間に終わった。

○早速に社内ﾙｰﾙの見直しを始めました。率先垂範！まず社長である私からです。

○次回のテーマは『防衛運転』ですが、私は予定があり参加できないので、補助者を行かせ学びを共有するつもりです。もちろん最後は２人で参加予定！とても楽しみです･･･ 等でした。

※4h ⇒連続運転時間：1 回 8h ⇒休息時間：1 日 293h ⇒？時間： 9h ⇒？時間：13h ⇒？時間： 44h ⇒？時間：

昨今ニュース等でよく耳にするバス・トラックによる大事故、それに未然に防ぐ安全確保の為の法律、私たち管理者はどうすれば良いのか･･･ そうしたことを学ぶ場として去る平成 30 年 11 月 16 日、太閤園に於いて第４講が開催されました。テーマは「**点呼・ﾐｰﾃｨﾝｸﾞ・添乗指導**」！内容は、「点呼・ﾐｰﾃｨﾝｸﾞ・添乗指導 ～伝える（教える）＋ 確認（育てる）＝教育 ～」。管理者が「知らなかった・やらなかった・できなかった」は会社の責任だと講師の大林インストラクターはキッパリと言い切りました。ドライバーの個々の情報を責任者は知っているのでしょうか？管理者のコミュニケーション能力がドライバーの事故や燃費等の数値に表れる事をご存知でしょうか？個々に「近寄る・触れる・見送る」といった記憶に残る、いや残すよう点呼をすることによって導いていきましょうというのが、大まかな内容でした。（Ｋ．Ｅ）

第４講（於：太閤園・ゴールデンホール）

☆ 今年（来年）の目標は事故ゼロ！ → 今日の目標は事故ゼロ！

を掲げましょう。

青協のページ！！！

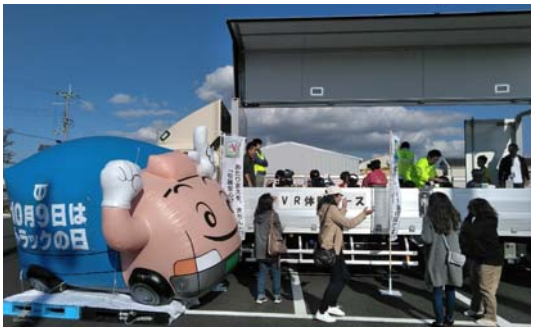
救命救急講習

特別会員・歴代会長として挨拶する地区長

幸多前会長から田崎会長へ

トラック DAY に代わる新たな広報活動を求めて・・・

10 月 28 日(日)に 泉佐野市の泉佐野南部公園で開催された「トラックふれあいカップ U-10」に行ってきました。例年トラック DAY が万博で行われていたのですが、今年は諸般の事情で中止となり、大ト協青年部会とサッカー連盟関係者との共催という形での開催でした。橋本部会長はあいさつの中で、“子供たちが優勝目指して頑張ること、トラックのことをもっとよく知ってもらうこと”と、このカップの主な目的を説明し大会が始まりました。子供たちは、目的の 1 つの優勝目指し元気にグラウンドを走り回っていました。2 つ目の目的であるトラックの認知度アップのために、「2t 車・トラクターヘッドを使った乗車体験ブース」「バーチャルリアリティー(VR)を駆使した VR 映像体験ブース」「トラック業界の活動をパネルで紹介した展示ブース」「スタンプラリー」などが用意され、子供たちは楽しそうに各ブースを回っていました。



当日は我が東北支部の青年協議会のメンバーも参加し、業界の発展のために頑張ってくれていました。素晴らしい催しでした。**（特別会員 H．I）**

平成 30 年度 東北青協 主な事業の報告

○ 4 月度例会「**救命救急講習**」H30 年 4 月 7 日、於：大阪市旭消防署
○ 6 月度例会「**映像で見る事故防止と安全運転**」H30 年 6 月 23 日
　於：大阪府トラック総合会館（講師：東京会場日動火災保険㈱　小俣 治氏）
○ 8 月度例会「**納涼会**」H30 年 8 月 4 日　於：GARB weeks
○ 9 月度例会「**仲間の仕事を知る交流商談会**」H30 年 9 月 8 日 於：京橋 中国料理 大北京
○10 月度例会「**如何に従業員を確保するか！～効果的求人方法～**」H30 年 10 月 10 日
　於：大阪府トラック総合会館（講師：求人情報サイト運営会社のデップ㈱　三浦氏）
○12 月度例会「**納会**」H30 年 12 月 8 日 於：和食 個室 北新地 暁
○ 1 月度例会「**年賀交歓会**」H31 年 1 月 12 日 於：ＸＥＸ　ＷＥＳＴ(ゼックス　ウェスト)

※本会は企業経営に関する事業を催し、知識の充実を図り、人格見識への陶冶に努め、会員相互の協調を以って経営に青年の新風を注入し、発展させ業界の社会的地位を目指し、公共の福祉に貢献することを目的に設立され今年で 27 年目を迎えました。現在は正会員(満 50 歳未満)45 名と特別会員 22 名の計 67 名の構成となっております。

秋の全国交通安全運動　2018年9/21～30

全国交通安全運動は、広く国民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、国民自身による道路交通環境の改善に向けた取組を推進することにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的としています。2018秋は、「子供と高齢者の安全な通行確保と高齢運転者の交通事故防止」を運動の基本とし、夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止、全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底、飲酒運転の根絶を全国重点として、普及啓発活動は全国各地で一斉に行われました。

守口市交通安全市民大会 9.22

枚方式典 9.20

守口反射材啓発 9.27

2018年の「秋の全国交通安全運動」は9/21 ～ 30の10日間に展開され、当北河内地区内に於いても交通安全を呼びかけるキャンペーンが繰り広げられました。この運動期間の前日、恒例となっている枚方パレードは雨天のため中止となり式典のみが駅高架下広場で開催されましたが、1日署長として「おはよう朝日・土曜日」のエレクトーン奏者 山口実香さんを迎え大盛況でした。
また全国交通安全運動初日の恒例となっている住道駅前早朝キャンペーンは前日からの生憎の雨のため中止なりましたが、同日開催予定であった寝屋川街頭キャンペーンは予定どおり決行され、役員３名が参加協力しました。翌22日は守口市交通安全市民大会（於：守口エナジーホール）が開催され、当会からは中島地区長が来賓として招かれました。昨年の春よりはじまり、この秋で、４回目となる守口ジャガータウンの薄暮事故防止キャンペーンでは北河内役員５名及び守口警察署員らが参加し通行する歩行者、自転車への啓蒙活動と啓発グッズの配布を行いました。（Y．K）

中環をきれいにする日･･･

９月２０日、「中環をきれいにする日」と題して毎年開催され今年は生憎の雨天でしたが、当会では８名が参加し、守口市大日町近辺の清掃を行いました。当会以外にも多くの方が参加されていましたが、皆さん大きなゴミ袋一杯にゴミを入れていて「こんなにたくさんのゴミが道路や歩道に捨てられているのだ」と今回も驚かれていました。（Y．K）

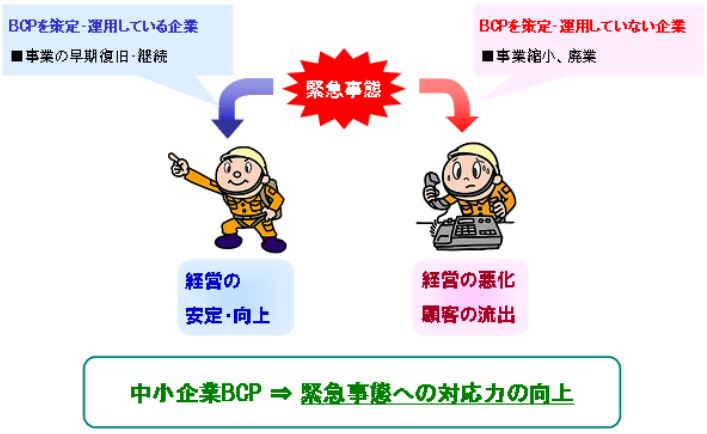
ＢＣＰ（事業継続計画）って何？

※ 経営者研修交流会ヨカッタよー！と褒めて頂いた会員さんより、次はBCPとかについての講演が聴きたいわ、と言われ？？？　早速調べてみました。

BCPとはBusiness Continuity Planの略で、災害や事故など不測の事態を想定して、事業継続の視点から対応策をまとめたもので、危機発生の際、重要業務への影響を最小限に抑え、仮に中断しても可及的速やかに復旧・再開できるようにあらかじめ策定しておく行動計画のことです。（人事労務用語辞典より）

東日本大震災（平成23年3月11日発生）において、中小企業の多くが、貴重な人材を失ったり、設備を失ったことで、廃業に追い込まれました。また、被災の影響が少なかった企業においても、復旧が遅れ自社の製品・サービスが供給できず、その結果顧客が離れ、事業を縮小し従業員を解雇しなければならないケースも見受けられました。緊急事態はいつ発生するかわかりません。BCPとは、こうした緊急事態への備えのことをいいます。― 中 略 ―

経営者であるあなたは、日々の経営の中で雇用・人材育成、税制対応や事業承継等について考えていると思います。BCPの策定・運用、すなわち事業継続への取組は、特別なものではありません。既にあなたが考えている雇用・人材育成等と同様に、日々の経営の一環として取り組んでいくものです。



BCPを策定・運用することで、あなたの会社は、緊急時の対応力が鍛えられることに加え、平常時にも大きなメリットを得ることができます。例えばBCPの策定により、自社の経営の実態（在庫管理の実態、顧客管理の実態等）が把握でき、こうした日々の経営管理を再確認することができます。また、BCPの策定・運用により、防災に係る融資や保険の優遇が受けられる場合もある他、取引先や社外からの信用が高まり中長期的な業績向上も期待できます。　― 後 略 ―

（中小企業庁「中小企業BCP策定運用指針」より抜粋引用）

なるほど、柴口講師がその大切さを訴えた「事業性評価」の要素になり得るかもと納得です。大阪北部地震、西日本豪雨、そして台風21号･･･、と自然災害が甚大な被害をもたらした平成最後の年の師走です。

◆ 北河内地区会員状況　全３０１社

― 平成30年11月30日　現在 ―

守口・門真ブロック	114社
寝屋川・枚方・交野ブロック	112社
大東・四條畷ブロック	75社

◆ 総務委員会より

左記のとおり今年の地区総会開催時293社だった当地区会員は８社増えました。新会員様の歓迎も兼ねた新事業を当委員会では、ただ今検討中です。それでは皆様よいお年をお迎え下さいませ。来年も宜しくお願いします！